

ステップアップ

山口県下関市富任町6丁目18番18号
TEL: 083-258-0338
FAX: 083-259-8876
ホームページ: <http://www.mizunoki.jp>

目次

- 「科学的介護」の時代へ／福祉部長
- 新型コロナウイルス感染症に対する対応／医療安全対策室
- 新事務部長挨拶／事務部長
- 新任医師の紹介

- 新入職員の紹介
- 水の木知恵袋
- つなげようスタッフのわ



「科学的介護」の時代へ

～福祉部長 佐藤 正昭～

介護分野では、医療における「治療効果」等の関係者間でコンセンサスの得られた評価指標が必ずしも存在するわけではなく、個々の様々なニーズや価値判断が存在しており、介護サービスの評価については、科学的な検証に裏付けられた客観的な情報が十分ではない状況でした。

今回の介護報酬改定で、「科学的介護」の仕組みと加算が導入されました。厚労省のLIFE（科学的介護情報システム）に各事業所がデータを提出することにより、科学的手法に基づく分析が進み、エビデンス（※）が蓄積され、分析成果のフィードバックによる介護サービスの質の向上が期待されます。

人口減社会に向かう中で、介護保険制度の理念である「尊厳の保持」と「自立支援」を推進していくためには、ICTの活用は欠かせないものであり、「豊かな感性」と「科学的介護」の調和と融合を目指す時代の始まりです。

※エビデンス：根拠、証拠



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対して当院の対応

～医療安全対策室～

今年の2月より、下関病院外来～病棟間限定でタブレットを活用したオンライン面会を開始しました。長期間に渡る面会制限へのご理解とご協力ありがとうございます。

現在、山口県と北九州市在住のご家族の方をオンライン面会の対象とさせていただいております。限られた時間の中でご家族や患者さんが笑顔になり、喜んでいただいている場面を見ていると、感染拡大やコロナ禍の緊張が続く中での癒しとなり心安らぐ時間になっています。

新事務部長挨拶

～中田 恵一～

関連の萩病院で13年勤務の後、4月より下関病院勤務となりました中田です。足早に1ヶ月が経ちましたが、職員さんを覚えるのも病院内を覚えるのも、まだまだ先になりそうです。病院内で図面を持ってウロウロして道に迷っているように見えたら、声をかけて下さると助かります。わからないことも多いですが、皆さんと一緒に楽しく働けたらいいなあと思っています。よろしくお願いします。

理念

地域の精神科基幹病院としての使命を果たし 信頼され親しまれる医療・福祉をめざします

患者さんのために

わたしたちは、慈愛と尊敬のこころをもって、患者さんに医療・福祉を提供します。
わたしたちは、個々の患者さんにあった、質の高い医療・福祉を提供します。
わたしたちは、患者さんの視点に立ち、人権に配慮した医療・福祉を提供します。

社会のために

わたしたちは、関係機関との連携を密接にし、地域のニーズに的確に応えます。
わたしたちは、教育・啓蒙活動を積極的に行い、地域に開かれた医療・福祉活動を実践します。
わたしたちは、限られた医療資源を大切に、健全で効率的な医療・福祉運営に努めます。

新任医師の紹介

工藤 良二 先生

4月より約10年の時を置き戻ってきました。昭和58年に精神科医としての生活をスタートし各地を放浪し約20年前に縁あって下関病院にお世話になっておりましたが、不幸な怪我により病院を離れました。しかし、しかし持ち前の薬物療法のセンスと精神療法の崇高さに磨きをかけ戻ってまいりました。これからは愛と情熱をもって治療に臨みますので患者さんをどんどん回してください。「私絶対治すので」よろしくお願ひいたします。

水木 慧 先生

令和3年度より勤務させていただいています。小学校まで下関で過ごし、その後は佐賀、福岡に移り現在久留米大学神経精神科に在籍しており、主に睡眠に関する勉強をしています。今回生まれ育った下関で地域医療に貢献できる機会をいただきワクワクしていますし、代々引き継がれてきた当院で働けることに非常に身の引き締まる思いもしています。まだまだ若輩者で不慣れな点多々ありますが、どうぞ宜しくお願い致します。

山本 希美 先生

4月から初めて精神科医として勤めています。下関で高校時代まで過ごし、山口大学を卒業しました。地元から一度離れてみたくて、ある先生から誘われて東北で2年間研修生活を送り、様々な診療科を勉強しました。専門としていく診療科の選択に迷い、福岡で内科を2年間勉強しながら自分の適性を考えました。自分の少しのんびりした気質と、人の気持ちをもっと理解したいという気持ちから精神科を選択しました。まだまだ分からないことが多いですが、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

朴 成祐 先生

大分大学医学部を卒業後に産業医科大学病院で2年間の研修を経て、今年4月より精神科医として勤務させて頂いております。初期臨床研修を終了したばかりで至らない点多々ありますが、先生方からの指導や日々の診療を通じて知識や経験を重ねて、患者様と病院に貢献できるように頑張っとうこうと思っております。どうぞ、よろしくお願ひいたします。



新入職員の紹介

金子 佳枝 (急性期病棟／看護師)

趣味・特技 : 映画鑑賞
 好きな言葉 : あるがまま
 長所 : 人見知りをしな
 短所 : 空気を読まない

植田 千恵 (急性期病棟／看護補助)

趣味・特技 : 犬の散歩
 好きな言葉 : 柳に雪折れなし
 長所 : 穏やか
 短所 : 神経質



佐藤 彩 (男子リハビリ病棟／准看護師)

趣味・特技 : 散歩
 好きな言葉 : なし
 長所 : 健康・マイペース
 短所 : 超人見知り

篠原 瑚心 (男子リハビリ病棟／准看護師)

趣味・特技 : 料理・読書
 好きな言葉 : 掛け替えのない人生を賭けてこそが人生なんだ
 長所 : 世話焼き
 短所 : 卑屈



藤原 由佳利 (男子リハビリ病棟／看護補助)

趣味・特技 : ドライブ
 好きな言葉 : 特になし
 長所 : マイペース
 短所 : マイペース



田中 由香里 (女子リハビリ病棟／看護師)

趣味・特技 : 御朱印巡り・羊毛フェルト作り
 好きな言葉 : 一期一会
 長所 : 真面目
 短所 : 頑固



杉本 秀美 (認知症治療病棟／看護師)

趣味・特技 : 旅行・カラー診断・マッサージ
 好きな言葉 : 感謝・おかげさま・恩返し
 長所 : 単純おバカなところ
 短所 : 短気

岩本 政美 (認知症治療病棟／准看護師)

趣味・特技 : グルメ探訪
 好きな言葉 : 初心忘れるべからず
 長所 : ポジティブ
 短所 : 楽観的

荒木 恒大 (精神保健福祉科／精神保健福祉士)

趣味・特技 : 将棋
 好きな言葉 : 配られたカードで勝負するしかない
 長所 : おおらか
 短所 : 飽きっぽい

南川 侑伽 (精神保健福祉科／精神保健福祉士)

趣味・特技 : マンガを読むこと
 好きな言葉 : 人の振り見て我が振り直せ
 長所 : 前向き
 短所 : 人見知り



國光 佑輔 (作業療法科／作業療法士)

趣味・特技 : 映画鑑賞
 好きな言葉 : 感謝
 長所 : マイペース
 短所 : マイペース

濱井 明子 (地域診療クリニック薬局／薬剤師)

趣味・特技 : 芸術鑑賞・どこでも寝れる
 好きな言葉 : 平和
 長所 : あまり執着しない
 短所 : 人見知り

山口 麻里子 (地域診療クリニック薬局／薬剤助手)

趣味・特技 : 読書・着付け
 好きな言葉 : 平穩
 長所 : 人見知りしない
 短所 : 鈍い



富田 良子 (豊松苑／介護職)

趣味・特技 : ホームセンター巡り
 好きな言葉 : 人生は一度きり
 長所 : 声大きい
 短所 : 短気

角田 実 (富任荘／副施設長)

趣味・特技 : 釣り
 好きな言葉 : 天才とは努力する凡才のことである
 長所 : 真面目・向上心がある
 短所 : 慎重に考えすぎる・緊張しやすい



皆上 秀次 (山茶花／介護福祉士兼生活相談員)

趣味・特技 : 子供と遊ぶこと
 好きな言葉 : 笑う門には福来たる
 長所 : 明るい・悩まない
 短所 : 飽きるのが早い



藤村 隆明 (山茶花／生活相談員)

趣味・特技 : 魚釣り・料理
 好きな言葉 : 雲外蒼天
 長所 : 人見知りしない
 短所 : おっちょこちょい

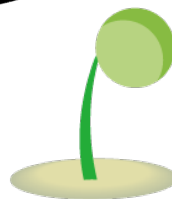


みずの木

ちえぶくろ

今回は、心理技術科から

どんな木になるかな？



ご存知ですか？ 「レジリエンス」

心理学の用語に“レジリエンス”というものがあります。“レジリエンス”とは困ったことに出会っても立ち直る心の力のことです。“レジリエンス”について考える『四本の木』（石歌庵 文ケイコ 絵）という絵本があります。

丘の上に、一樹という名の、一本の高い木が立っていました。ある夏、今まで吹いたことのないような、はげしい風が吹いて、一樹は幹から折れてしまいました。それを見ていた小さな三本の木は考えました。どうしたら折れない木になれるだろうか。

大樹は、風が吹いてもびくともしない、強い木になろうと思いました。
 優樹は、風に曲げられても折れない、しなやかな木になろうと思いました。
 友樹は、風が吹いても、なかまと助け合おうと思いました。

生きてると誰でも困難なことに会います。自分ではどうしようもないと感じることもあります。そののりきり方は人それぞれ、正しい、間違いなどはありません。ただ、誰でも立ち直る力は持っている、その方法は一つではないということです。

では、レジリエンスを育てていくためにどんなことができるでしょうか。『自分らしさを大事にする』、『人とのつながりを大切にする』、『いろいろな見方してみる』のもいいかもしれません。絵本の中の一樹は、折れたところから小さな枝を出しました。回復する力を信じて、自分なりのレジリエンスを育んでいきたいものです。



つなげよう！スタッフのわ 連載 第35回 スタッフでつなげる、趣味のはなし。

今回は 男子回復期病棟 藤田 裕介 さんです。

嫁の趣味ですが小鳥を飼っています。
 青いインコで、綺麗だし可愛いのですが、噛みます。私の事だけ。
 くちばしが一番尖った部分で、私の耳たぶや唇を思いっきり噛むので
 血が出ます。痛がる私を見て「ゲコゲコゲコ」と蛙のような笑い声をあげ、
 激しく首を上下に振り喜びます。さすがに腹が立って「こら！」
 と叱ると、肩にウンチをして飛び去って行きます。
 ただ、ごく稀に、私の掌で水を溜めると水浴びをしてくれるんですが、
 その時だけは可愛いなあと思えます。
 水浴びの後、私の掌に溜めた水の中にはきっちりウンチが沈んでいます。



次回は 男子回復期病棟 山村 英一 さんです。

編集後記

今回、新たに広報委員となりました。

新年度、新入職員の方も多く入職されましたが、私も負けずに気持ちを新たにして広報活動を行ってきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

(広報委員 岩崎 三幸)